



シャボン玉、上手にできたかな？

新しいお墓のカタチ

メモリアルパークののいち竣工式

中林に誕生した市営墓地公園「メモリアルパークののいち」の竣工式が9月30日(金)に開催され、市関係者や施工業者など約40人が施設の完成を祝いました。メモリアルパークののいち、シンボリックな礼拝空間を擁する施設型合葬墓（納骨堂）を敷地中央に配置するほか、県内公営墓地では初となる樹林型合葬墓や3種類の一般墓スペース、多目的広場などを設けています。10月1日(土)、2日(日)には一般向けの内見会が開催され、多くの市民が訪れました。

カメラリア閉館後、初の開催！

カメラリアまつり

9月24日(土)、市役所とあらみや公園を会場に、今回で13回目を迎える「カメラリアまつり」が開催されました。市役所の中庭では、クラシックや吹奏楽の演奏会が行われ、秋晴れの青空に流れる音色たちが上質な時間を作り出していました。このほか、シャボン玉遊びのコーナーや世界の遊びを体験できる子ども向けのイベント、市民活動団体の活動を紹介するブースや移動販売車による軽食などの販売もあり、訪れた人たちの笑顔がいっぱいの空間になりました。



施設の名称を刻んだ石銘板の除幕が行われました。



小さなマエストロ2人には、大きな拍手が贈られました。

音楽って素晴らしい！

みんなの音楽会

10月8日(土)、文化会館フォルテでは、「みんなの音楽会」が開催されました。「見て・聴いて・参加して」をテーマに、面白い企画が盛りだくさんの本コンサート。マエストロ体験では、子どもたちが指揮者となり、坂口昌優さん（野々市市出身）のヴァイオリンと鶴見彩さんのピアノのリズムをコントロール。参加者からは「楽しかった」との声が聞かれました。このほか、朗読と演奏のコラボレーションやクイズコーナーなどもあり、楽しく鑑賞することができました。

40年の感謝と新たな一歩

野々市明倫高等学校 創立40周年記念式典

10月15日(土)、野々市明倫高校が創立40周年記念式典を県立音楽堂で開催し、在校生や関係者、歴代校長など約950人が集い節目の年を祝いました。式典では、これまで同校を支えてきた永年勤続者の表彰や合唱部と演劇部による校歌斉唱などが行われました。その後、米林宏昌氏（映画監督・野々市市出身）による「アニメーション映画を作りながら考えたこと」と題した記念講演を実施。後半のライブドローイングでは、米林氏のペンの動きに会場者らは見入っていました。



吹奏楽部と木村茉莉さん（卒業生）がそれぞれ記念演奏を披露。

まちの話題 Focus

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 ☎ 227-6056

地域文化の継承と挑戦

第10回 北国街道野々市の市

10月8日(土)、9日(日)、本町通りを歩行者天国にして行う「北国街道野々市の市」が3年ぶりに開催され、旧北国街道沿いが多くの市民でにぎわいました。8日(土)は前夜祭として踊り流しを実施。通りに子どもたちの手作り灯ろうを並べ、浴衣や普段着の人が入り交じってじょんから踊りを楽しみました。9日(日)には、食事や体験などを提供する32のブースが所狭しと立ち並び、かつての「市」をほうふつとさせます。メインステージでは、太鼓演奏や布水中男子バスケット部のパレード、県立大学ダンス部のパフォーマンスなどを実施。喜多家住宅では野々市明倫高校華道部の生け花展示や箏曲の演奏、布市神社前では弁慶の力石の逸話にちなんだ発泡スチロール製の石の飛距離を競うコンテストが開催されました。



①前夜祭「じょんから踊りとやさ踊りの踊り流し」②剣詩舞奉納③野々市太鼓 結のオープニング演奏④喜多家住宅「音楽文化協会ミニコンサート」⑤県立大学ダンス部パフォーマンス⑥布水中学校男子バスケット部準優勝記念パレード⑦会場を人力車で周遊⑧弁慶の力石コンテスト⑨カミーノでは9日(日)に「ののいちにゃんこのうち」がチャリティーイベントを開催



商品は1の1 NONOICHIなどで販売しています。

あなたの料理のアフセントに！

日本酒「猩々」酒かす塩が誕生

市と石川県立大学、中村酒造の連携で復刻した野々市生まれの地酒「猩々」。今年3月の販売以来、すっきりとした味わいが好評で、多くの食卓で楽しまれています。市観光物産協会では猩々の更なるPRのため、製造工程で廃棄される酒かすを利用した酒かす塩を商品化。海水に酒かすを40%配合し煮詰める製法でつくられ、猩々の豊かな風味を感じる味に仕上がりました。9月27日(火)には魚住理事長が栗市長へお披露目し、「どんな風に使ってもらえるか反応が楽しみ」と話しました。

発酵食と発酵食のマリアージュ

日本酒「猩々」とチーズとJAZZのセッション

日本酒とチーズは、どちらも旨味成分であるアミノ酸などが豊富な発酵食品で、組み合わせると相乗効果でさらに旨味が引き出されます。そんなチーズとのペアリングにより日本酒「猩々」の魅力を更に広めるため、市観光物産協会は10月1日(土)に本イベントをにぎわいの里ののいち カミーノで開催。訪れた参加者40人は、「FULL MOON SEPTET」によるJAZZ演奏を楽しみながら、チーズ王国（金沢市）が厳選した「猩々に合うチーズ」と猩々のマリアージュを堪能していました。



「マリアージュ」とは、組み合わせで新たなおいしさを引き出すこと。